

京都府漁海況情報

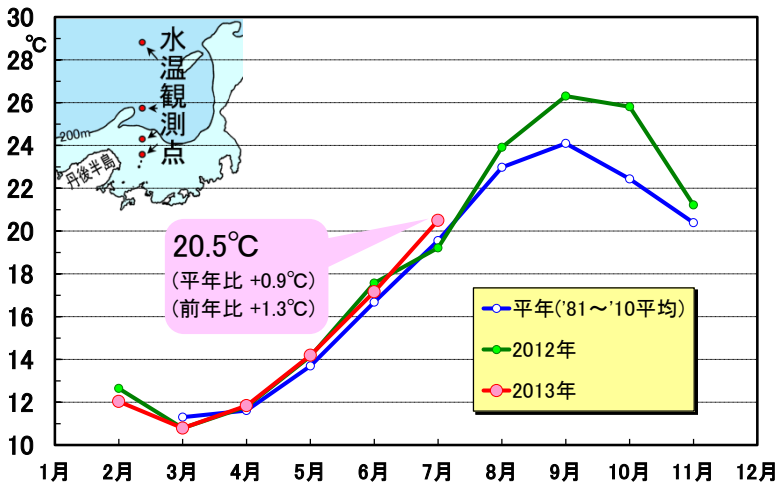
海の状況

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

【現況】

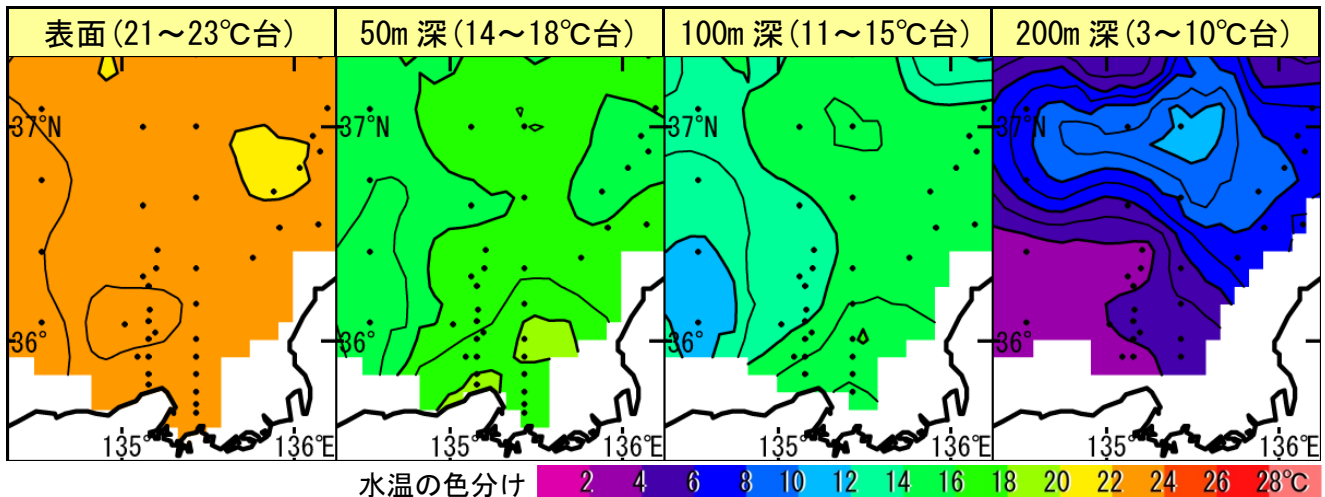
7月上旬における京都府周辺の表層水温は、前年および平年より高めで推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2013年7月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元：気象庁，(独)日本海区水産研究所

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年より高め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年より強め」で推移する見込み
沖合からの冷水域の張り出し*	「弱め」で推移する見込み

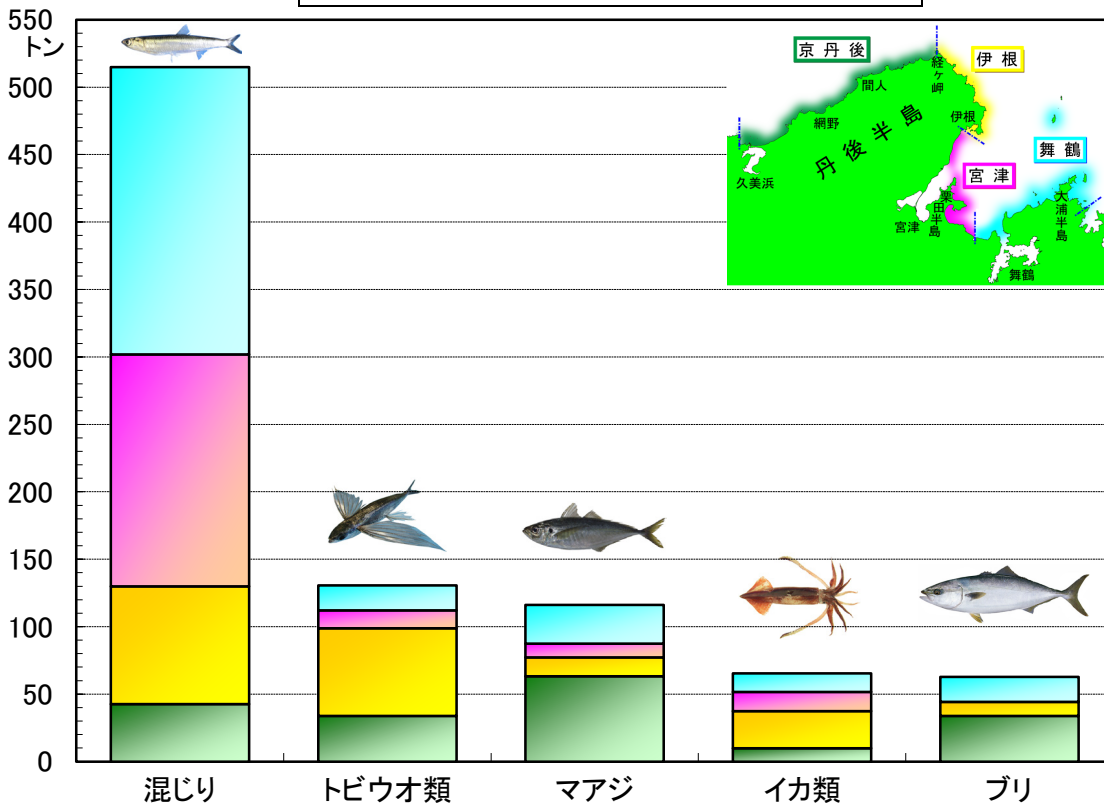
*冷水域の張り出しが強いと、対馬暖流域に生息するブリなどの浮魚類が沿岸に来遊しやすと考えられています

漁模様 ～2013年6月～

【定置網漁業】

全体の水揚量は、前年並みおよび平年の9割弱でした。

2013年6月の地域別漁獲量(上位5魚種)



6月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
混じり	514.9	354.0 (145%)	324.4 (159%)	<混じり> マイワシ(体長4～9cm級主体)が5割弱、アジ類(尾さ長3～13cm主体)が2割強、サバ類(尾さ長7～13cm主体)が約2割、カタクチイワシ(体長5～10cm主体)が1割未満と推定されました。 <イカ類> ケンサキイカ(白いか)が40.6トン、スルメイカ(胴長8～13cm主体)が24.6トンなどでした。
トビウオ類	130.6	196.4 (66%)	86.0 (152%)	
マアジ	116.2	193.8 (60%)	455.2 (26%)	
イカ類	65.4	34.6 (189%)	39.8 (164%)	
ブリ	62.8	43.4 (145%)	77.5 (81%)	
カマス類	25.5	33.4 (76%)	16.5 (155%)	
サワラ	19.9	16.5 (121%)	34.8 (57%)	
マルアジ(青あじ)	10.0	6.3 (158%)	23.5 (43%)	
スズキ	9.2	8.3 (110%)	10.1 (92%)	
タイ類	5.3	3.3 (162%)	6.7 (79%)	
その他	31.5	40.6 (77%)	65.7 (48%)	
合計	991.4	930.7 (107%)	1140.0 (87%)	

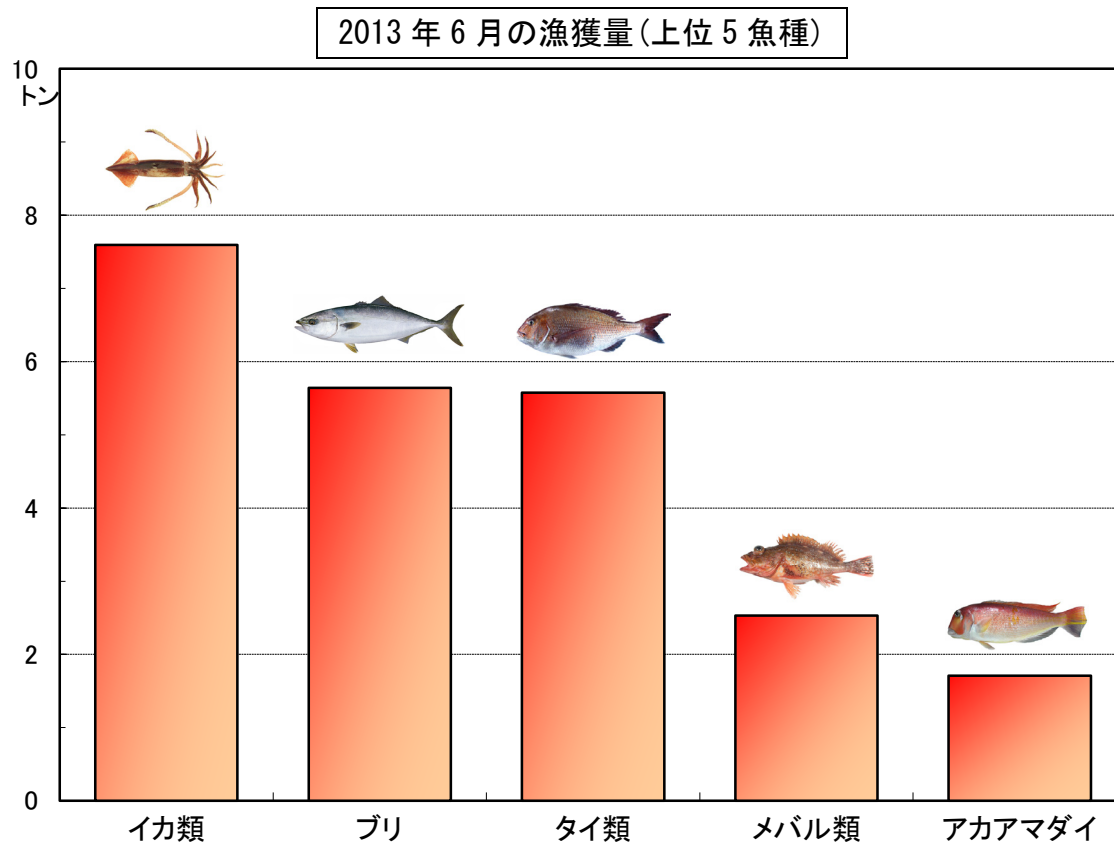
平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

資源保護のため、6月1日から8月31日まで休漁です。

【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は、前年の約1.5倍および平年の8割弱でした。



6月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	7.6	2.6 (297%)	15.5 (49%)	<イカ類> スルメイカが6.9トン、ケンサキイカ(白いか)が0.7トンなどでした。 <ブリ> ぶり銘柄が約7割、まるご銘柄が約2割、つばす・はまち銘柄が若干量でした。 <タイ類> マダイが7割弱、キダイ(レンコダイ)が約3割、クロダイとチダイが若干量でした。
ブリ	5.6	3.7 (152%)	3.1 (183%)	
タイ類	5.6	3.1 (179%)	3.5 (160%)	
メバル類(もいお)	2.5	1.9 (130%)	2.2 (114%)	
アカアマダイ(ぐじ)	1.7	2.0 (86%)	2.1 (81%)	
マアジ	1.2	0.6 (209%)	1.1 (114%)	
タチウオ	0.4	0.6 (56%)	0.9 (39%)	
スズキ	0.3	0.2 (169%)	0.5 (63%)	
サワラ	0.1	1.3 (11%)	2.2 (6%)	
ヒラマサ	0.1	—	—	
その他	2.8	3.0 (95%)	4.8 (59%)	
合計	28.0	19.0 (147%)	35.9 (78%)	

平年は過去10年平均